

## 令和8年 1学期 始業式 校長挨拶

皆さん、おはようございます。

この度の人事異動により、4月1日に着任いたしました石川一です。

伝統と実績、そして未来への希望に満ちた、この「市尼」の一員となれたことを、心から誇りに思っています。私はまだ、皆さんの活動のすべてを知っているわけではありません。しかし、正門をくぐった時に感じる活気、すれ違う時の清々しい挨拶……それだけで、皆さんと先生方が、授業や部活、日々の生活をいかに大切に積み重ねてこられたかが伝わってきます。

皆さんがどんな表情で学び、汗を流しているのか、できるだけ多くの場面を拝見したいと思っています。校内、あるいはグラウンドで見かけた時は、ぜひ気軽に声をかけてください。

さて、令和8年度という新たな1年が始まりました。

新学期のスタートにあたり、皆さんに一つ、大切にしてほしい言葉を贈ります。

それは、禅の言葉である「而今(じこん)」です。

「而今」とは、「今、この瞬間」という意味です。

私たちは、つつい過ぎ去った昨日の失敗を悔やんだり、まだ見ぬ明日の不安に心を奪われたりしてしまいがちです。しかし、私たちが本当に生きることができるのは、過去でも未来でもなく、「今、この瞬間」しかありません。「後でやればいい」という先延ばしも、「あの時こうしていれば」という後悔も、今という貴重な時間を曇らせてしまいます。今日という日は、二度と戻ってこない一日です。

市尼生としての「今」。勉強、部活動、そして友人との何気ない会話。

そのすべてにおいて、「今、目の前のことに全力を尽くす」。

この「而今」の積み重ねこそが、皆さんの納得のいく未来を形作る唯一の道です。特に市尼生である皆さんは、切磋琢磨し合える素晴らしい仲間と環境の中にいます。自分を信じ、仲間を信じ、今日という一日を丁寧に、そして熱く刻んでください。

結びに、新しい学年、新しいクラスに期待と不安が入り混じっている人もいるでしょう。しかし、皆さんの前には、その不安を大きく上回る可能性が広がっています。

この一年が、皆さんにとって「而今」を体現する、実り多き時間となることを心から願い、着任の挨拶並びに始業式の式辞といたします。

令和8年4月8日  
尼崎市立尼崎高等学校  
校長 石川 一